

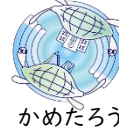
学校教育目標：「向学 自主 協働」

校訓：「夢を実現」



川通中だより

令和7年10月1日 第6号
さいたま市立川通中学校
TEL 048(799)1061
川中キャラクター ホームページ



～スローガン：「一生懸命はかっこいい」～

かめたろう

「魅せてくれた川中魂」

校長 鈴木 純

ようやく猛暑から解放され、秋の気配を感じるころとなりました。9月半ばをこえても本当に秋が来るのだろうかと思いをめぐらしていたところでした。気象庁は、今年の記録的な高温を受け、最高気温が40度以上の日に名称をつけることを検討しているとのこと。今年の夏に40度以上を観測した日数は9日、40度以上の観測地点は30か所、これまでの記録を更新したそうです。

さて、過日行われた令和7年度川通中学校体育祭は、秋晴れよりも雨が危ぶまれる曇天でしたが、「思い出 笑勝来（わっしょい）」～われらの物語 いざ、開幕～ というスローガンのもと、競技中に降られた雨の影響もなんのその、プログラムのカットや順番の入れ替えもありましたが、感動という言葉にふさわしい内容でした。振り返れば、夏休み明けから、わずか2週間という練習期間でした。個人種目、学年種目、全体種目すべてにおいて全力で取り組んでいる様子が随所に見られ、各学級のチームワークが練習の時よりも一層高まり、存分に力を発揮していました。

当日は、雨は止んでいたもののグランドコンディションは最良ではありませんでした。開始時間までに少しでもコンディションのよい状態で競技ができるよう、職員が早朝からグランド整備を行いほぼ定刻通りにスタートすることができました。しかし、途中から大降りの雨。3年生が全員リレーの待機をしていたところでした。「こんなときに雨？」と誰もが思ったことと思います。しかし、その大降りの雨の中、誰が声をかけたわけでもなく、職員や生徒がトラックの整備にもくもくと取り掛かっていました。さらに卒業生までも「3年生にとって最後の体育祭だから」と衣服の汚れも気にせず、汗をかきながらスコップを手に作業している姿に頼もしさを感じました。紙面を借りてお礼を言います。「どうもありがとう」感謝の気持ちでいっぱいです。今年の体育祭は、格別な思い出となりました。そして、保護者の皆様、地域の皆様には、お足元の悪い中、生徒の雄姿をご参観いただき厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

ところで、先月の半ば過ぎには、「未来くる先生」をお呼びしました。対象は1、2年生です。この行事は、さいたま市が本市にゆかりのある人を講師として派遣することを通して、「子どもたちの好奇心を伸ばすこと」「さいたま市への愛着を深めること」及び「キャリア教育の一環」として、望ましい勤労観や職業観を育成することを目的としています。当日は地元、岩槻区慈恩寺にある「常源寺」のご住職 六沢 純光 先生をお招きして、「心を耕す」という演題で、これからの進路や人としての生き方について、お話をいただきました。また、生徒の皆さんは、本校の卒業生でもある六沢先生のお話に親近感をもって、相槌を打ちながら耳を傾けていました。

お話の内容として、今の仕事（住職）になるまでの道筋やストーリー、今までの人との出会い（縁の大切さ）。体験学習として、椅子に座った状態での坐禅体験。生徒の皆さんの今後の糧となる様々なエピソードを丁寧にかみ砕いて伝えてくださいました。まとめとして、4点アドバイスをいただきました。進路を考えるうえで、ぜひ、参考にしてください。

- ① 将来の夢はすぐ決まらなくても良い
- ② さまざまな経験が必ず自分の役に立つ
- ③ 人との出会いが自分の人生を豊かにする
- ④ 今努力しておくことが将来の自分の選択肢を増やすことにつながる